

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和4年7月21日

【観測結果（調査日：7月8、11、12、13、15日）】

7月8日に三河湾、13日に伊勢湾南部、15日に伊勢湾北部、11、12日に渥美外海の観測を実施しました。海面水温は、25.6℃から30.2℃となっており、日射及び黒潮の影響により湾奥と渥美外海で高くなっています。

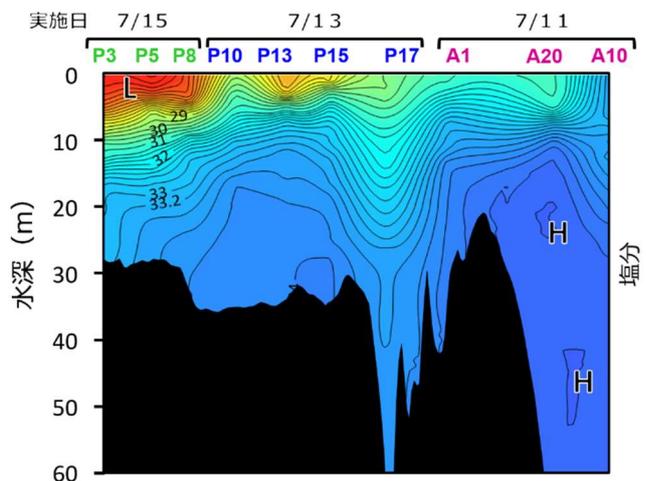
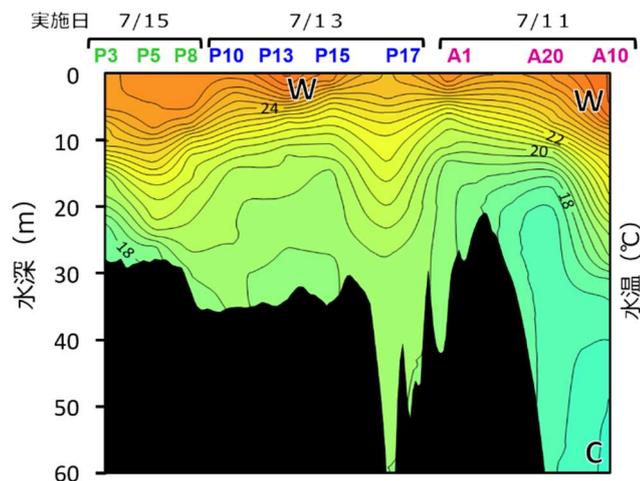
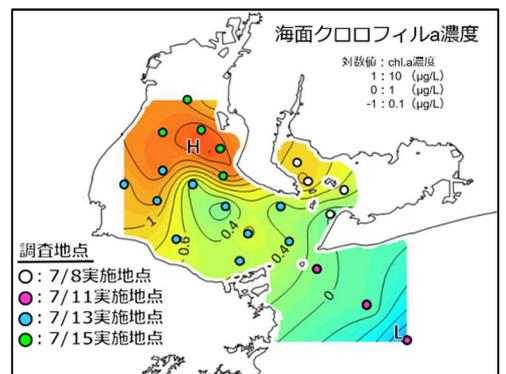
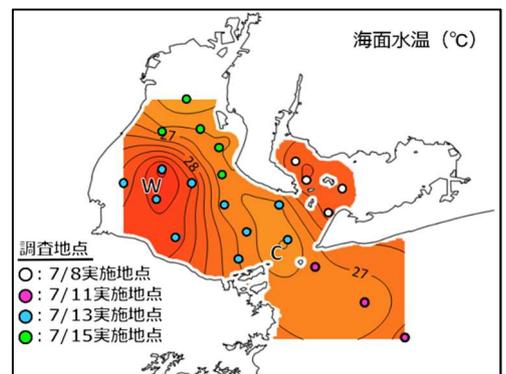
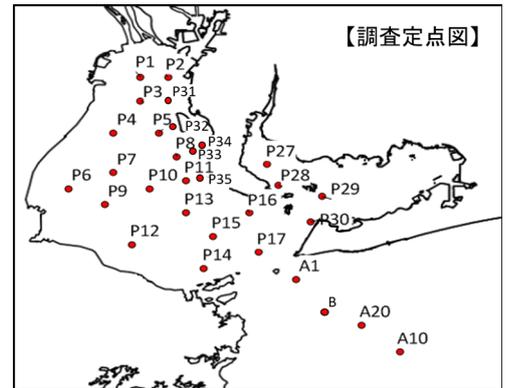
海面のクロロフィル a 濃度は、伊勢湾の湾奥で高く、渥美外海で低くなっています。

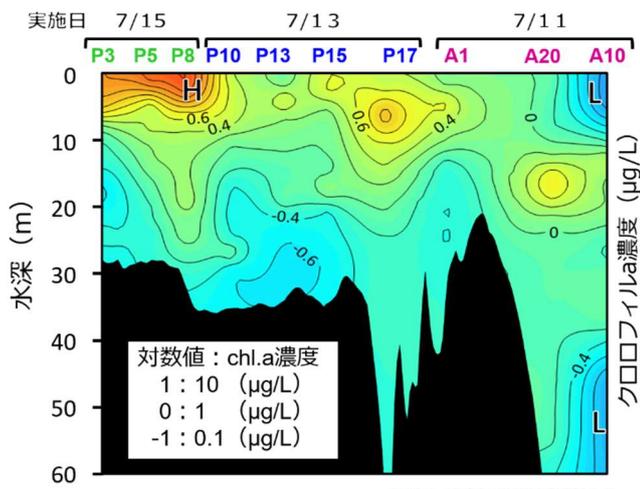
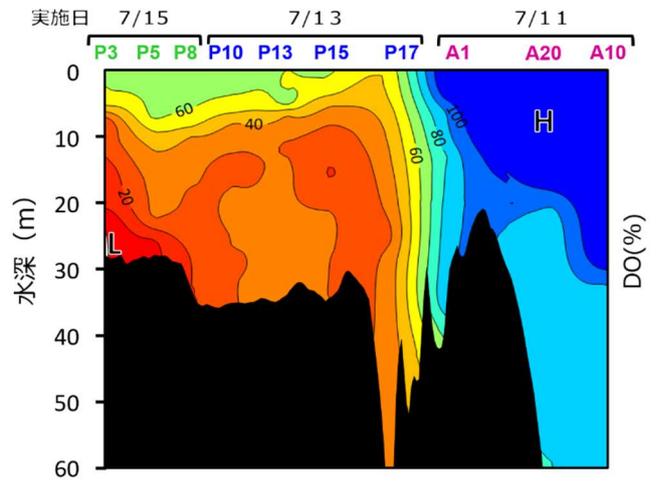
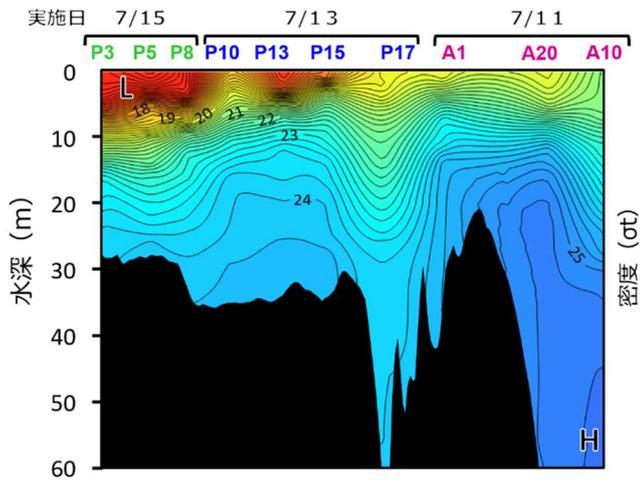
【鉛直分布（調査点：P3～A10）】

伊勢湾では、河川水の影響で、湾奥の表層に高温・低塩分の軽い水が分布しています。一方、渥美外海では、黒潮からの暖水波及の影響で、高温・高塩分水が分布しています。また、湾口部で湧昇がみられ、低温・高塩分の水が上がっています。

クロロフィル a 濃度は、湾奥 (P3) が最も高く、湾口 (A1) にかけて水深 10m 付近を中心に高くなっています。渥美外海では 15m 付近を中心に高くなっています。

湾奥 (P3) から湾央部 (P17) には、貧酸素水塊（溶存酸素飽和度 30%以下）が形成されており、水深 10m 付近まで浮上しています。





※図中の値は常用対数値です